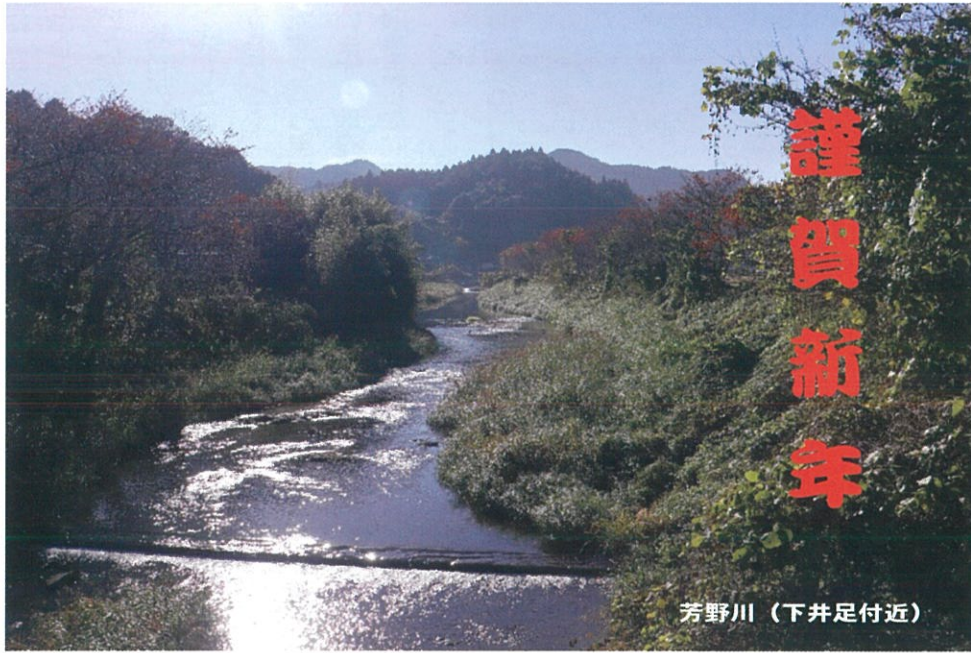


# 大王まちどまり

大王地区まちづくり協議会

会長 高見 喬宏

「初心に帰って」  
あけましておめでとうございます



芳野川（下井足付近）

発行/編集  
大王地区まちづくり協議会 広報部  
宇陀市榛原下井足  
825番地  
(農林会館内2F)



「大王地区まちづくり協議会」も九度目の新しい年を迎えることが出来ました。

昨年引き続きコロナ禍の影響もあり、総会も書面決議、各部会の会議もままならず、最小限に組織力の低下は言うまでもありません。

そのような中、第2回の井足岳登山実施と第8回「わが地域じまん祭」を実施出来たことはいずれの限りです。これも大王地区の皆様「わが町は自分たちの手で」との思いの表れと感謝致しております。

さて、「大王地区まちづくり協議会」設立十九目を迎えるわけですが、コロナ禍であることもあって、どのまちづくり協議会も十分な活動が出来ないこともあって、マンネリ化との二途をたどっています。

そこで一度立ち止まり、「まちづくり協議会」の今後のあり方を考え直すことが必要なのではないかと考えています。本当に地域の皆さんの力の結集「地域力」を活かし、住みよきまちづくりをめざしていかにか自問自答の繰り返しです。「まちづくり」は、人々の言われるように、今年度も皆様とともに大王地区の地域力の向上をめざして、ともに頑張ろうではありませんか。



## 第8回三文化祭 「わが地域じまん祭」

昨年11月21日(日)小雨降る中、農林会館において第8回わが地域じまん祭が開催されました。大王地区の地域の方々がたくさん参加して頂き、また昨年同様にコロナ禍の対策を行い地域の農産物やバザー販売で賑わいました。

あいにくの小雨降る中、大王まちづくり協議会第8回三文化祭「わが地域じまん祭」が開会、高見会長があいさつ前において、まち協のメンバー一員である安田自治会長の中森甚三さんがお亡くなりになりましたことについて、良きパートナーとして地域のまちづくり事業などを一緒に手伝って頂きましたことから皆様とともに黙とうを捧げたいと音頭を取られました。

大王まちづくり協議会わが地域じまん祭も第8回を迎えました。8年もやりますと盛り上げも中だるみも出てくるのではと心配もされますが、そこは違い地域のパワーが結集し、まち協のコンセプトである地域と地域、人と人、心と心をつなぎ第10回、20回と目指して頑張っていきたいと思います。また、来賓のご出席された金剛宇陀市長さん、多田市議会議員さんからもご挨拶を頂き、金剛市長さんから



高見会長のあいさつ



バザー販売様子



金剛市長のあいさつ

は、先ほどの高見会長のあいさつに「地域のパワー」をもっともっともらい頑張っって行くぞという良いお話を聞かせていただきました。

今日の日、準備を頂いたまち協の皆さんにお礼と敬意を表したいと述べられ、そして、「じまん祭」は自分の方からいっても、今度はいつあるんですか、来年はいつあるんですかという風に変えられ、じまん祭に参加して頂きます。

スタッフの二員である多田議員の挨拶では、大王地区に

は、ゆっくりと過でせる名所もあり特に、春頃には宇陀川・芳野川沿いの桜並木が非常に素晴らしい景色の場所であることから、お互いに絆を深め、人と人が繋がっていきますとご挨拶を頂きました。

じまん祭が開始され、地域の農家から集められた野菜等の販売も好評、また、地域の方々から無償提供されたワンコインバザーや次世代部会が取り組んでいるシホンケーキや人気のアマゴの塩焼き、焼き芋コーナーは、列をなして待ち時間も有り、それぞれの担当者は、四苦八苦しているようでした。また、「お楽しみ抽選会」が、11時から始まり、抽選んで当選された方の喜びの笑顔もあり12時の閉会まで地域の人々で賑わいました。



人気のアマゴの塩焼き



作品展示の様子



お楽しみ抽選会の様子

## 第2回井足岳登山 開催する



井足岳山頂三角点で記念撮影

11月6日(日)午前8時30分天候晴れ、大王地区スポーツ協会と共催で第2回井足岳登山を開催しました。

大王地区まちづくり協議会が、2年前に整備完了した登山ルート、井足岳登山第2回が開催され、スポーツ協会会長中垣俊一さん、まち協会長高見喬宏さんの挨拶の後、尾崎正行部長の登山コース注意事項など説明があり、農林会館を出発し嶽山を経て、井足岳山頂(550m)、奥ノ森林道から上井足殿垣内をぬけて約4時間弱のコースを踏破しました。

嶽山から見える山々の眺望と真下に見える上井足集落、真西に見える笠間集落や伊那佐山を眺ながら井足岳山頂へと自然を満喫しました。

農林会館に到着すると、まち協の教育文化部会のメンバー等による「豚汁とおにぎり」のおもてなしがあり、皆が感動、疲れを癒すお昼ご飯を美味しく頂く風景がありました。

### 編集後記

ポストコロナを見据えたまち協の姿について、コロナは甚大な被害をもたらした半面、社会のあり方を一変させました。未来社会のあり方そのものを考えさせる要因となり、今後には生かせ行かなければならない。

りゅう



豚汁のおもてなし



お昼ご飯の様子